

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム みつばちハウス
日付	平成17年2月8日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での認知症高齢者の看護・介護業務歴 17年 特別養護老人ホームでの認知症高齢者介護歴 13年
<input type="button" value="自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)"/>	
<input type="button" value="評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)"/>	
<input type="button" value="事業者のコメントを見る(評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります!)"/>	

#### 外部評価の結果

<b>調評</b>
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関の目につきやすい位置に、意見箱があり利用されていました。</li> <li>・居間にある大きな円柱の柱に、入居者の似顔絵を貼ったり、また、季節感を出すためにもみじを飾るなど工夫が見られました。</li> <li>・毎日の食材の購入をする際に、入居者の欲しい物を、入居者とともに買い物をしています。時間をゆっくりに(2時間程度)ととり、入居者が自らの希望を表明できるよう配慮されています。</li> <li>・入居者の希望により、毎週日曜日、おにぎりを作りドライブをされています。</li> <li>・大正琴、尺八、踊りなどのボランティアの方々や、近隣の保育園児の出入りもあり、交流を深められています。</li> <li>・事業所で催しものを行う際には、チラシを貼ったり、声掛けを行うことにより、近所の親子ずれも参加されていました。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物が借家ですが、開設後5年を経過し、雨漏りも見られます。トイレ入口のアコーディオンドアも大きく、取手の位置が高くなっています。また、風呂タイルも「かび様のもの」が噴き出しているなど、早急に修理、取替えを考えていただきたいと思いました。</li> <li>・ロビーが広すぎるので、パーテーションなどで区切るなど、入居者が楽しめるスペースを設置する工夫をされてはどうでしょうか。</li> <li>・玄関と居室の入口が施錠できるようにされています。施錠をせず、職員の見守りなどのソフト面で解決できるよう方策の検討が必要ではないでしょうか。</li> <li>・広い屋上を活用し、園芸や、菜園に利用するなど、日々の楽しめることを発想し、工夫されてはいかがでしょうか。</li> </ul>

#### 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームとして、家族との面会をできるだけ多くし、交流を深め、第2の家族として、一人ひとりが、ゆったりとした生活ができるようにと考えられています。</li> <li>・日々の生活の中で、入居者を大切な存在として考えるとともに、職員は人生の先輩に大いに学び、共に喜び合い、自由に楽しんでいただくことを目指していました。</li> </ul>		

#### ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の入居者の前では、他の方に気づかれないよう、カーテンを開けて身体状態の観察をするなど、入居者一人ひとりのプライバシーに配慮されています</li> <li>・夜間、それぞれの居室は入居者が施錠し睡眠を取っていることに配慮し、トイレのために起きてこられた際に、状態を確認しています。</li> <li>・入室の際には、ノックをし、同意を得て入るようにしています。</li> <li>・入浴時、女性の入居者で、男性職員の介助が嫌な方は、女性職員が介助にあたるなど、同性介助に配慮しています。</li> </ul>		

#### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表明への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		

#### 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に入居者のことを考え、問題発生予防と情報を早く取り入れるようにし、ヒヤリハットや事故報告書を作成し、事故防止に取り組んでいます。</li> <li>・建物の老朽化が進んでおり、経営者は早急に修繕を行う必要があると思います。現状では、ハード面の老朽化(雨漏りなど)により、職員はその対応に追われ、入居者の支援に集中できない状況が見られます。これは、入居者にとっても不利益です。経営者は現場の状況を確認し、課題解決に向けて取り組んでいただきたいと思います。</li> <li>・入居者が、より安心して生活ができるよう職員のレベルアップを図るうえで、グループホームに関する研修などの情報を、職員内で周知されて、職員研修に組み込まれてはいかがでしょうか。</li> </ul>		